

## 第8章 地区別計画

本市は、久喜、菖蒲、栗橋及び鷺宮地区の4つの地区に分けられます。久喜市都市計画マスタープランでは、この4地区別に、まちづくりの課題、目標、地区整備の方針が示されています。緑の基本計画では、この上位計画である都市計画マスタープランに示されている4地区別の地区整備の方針を踏まえて地区別の計画を策定しました。

水と緑の将来像を実現していくには、4地区の水と緑の特徴を踏まえながら進めていく必要があります。そのため、水と緑の特性を整理し、目標と地区整備の方針を踏まえた将来イメージについて設定しました。

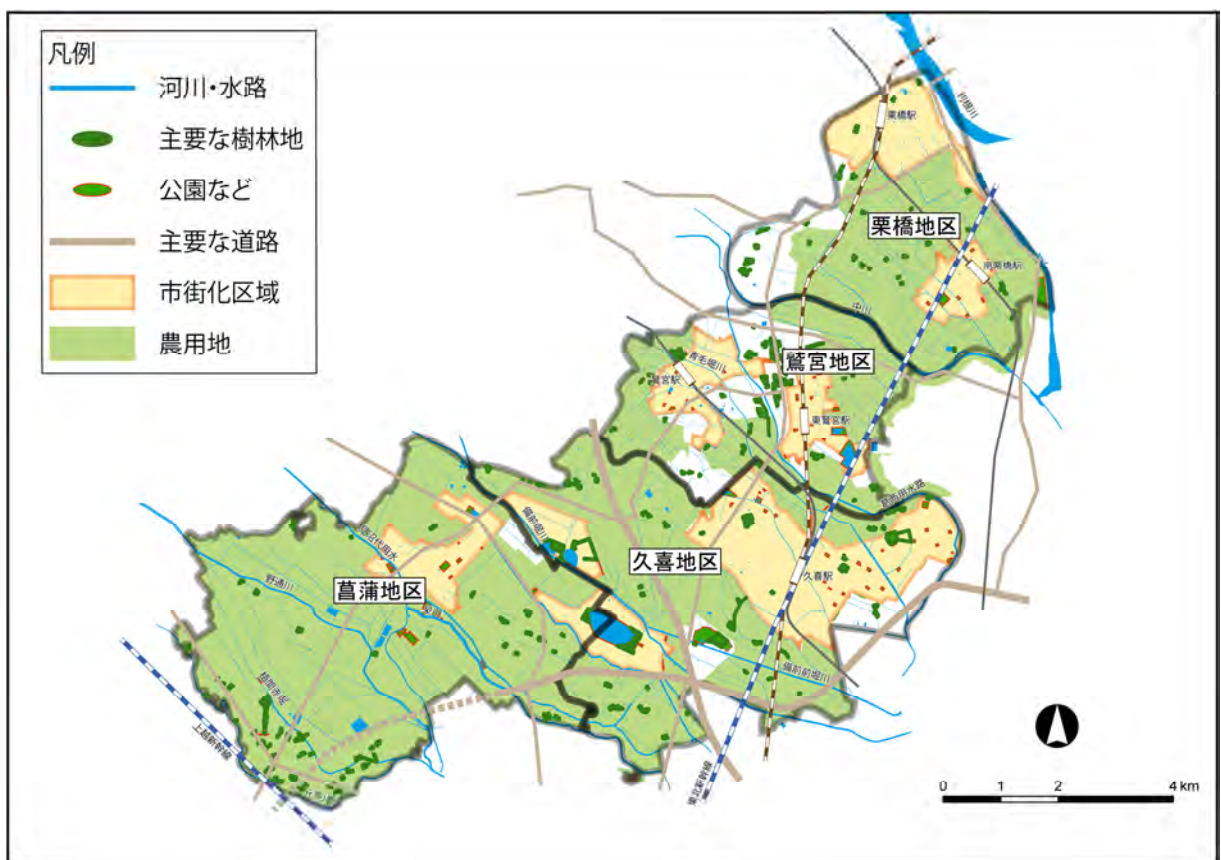


図 8-1 地区区分図

## 1 久喜地区

### (1) 概況

久喜駅を中心とする久喜地区は、本市の中心市街地として住宅地を中心とした都市が形成されています。青毛堀川、備前前堀川などが市街地内を流れ、川沿いの樹木とともに、水と緑の潤いを市街地内へともたらしています。

久喜駅周辺の市街地では、緑や公園などが少なく、郊外の市街化調整区域は、農地や集落が広がり水と緑が多く残っていますが、幹線道路沿いに産業立地が進みつつあることから、水と緑の減少が懸念されます。

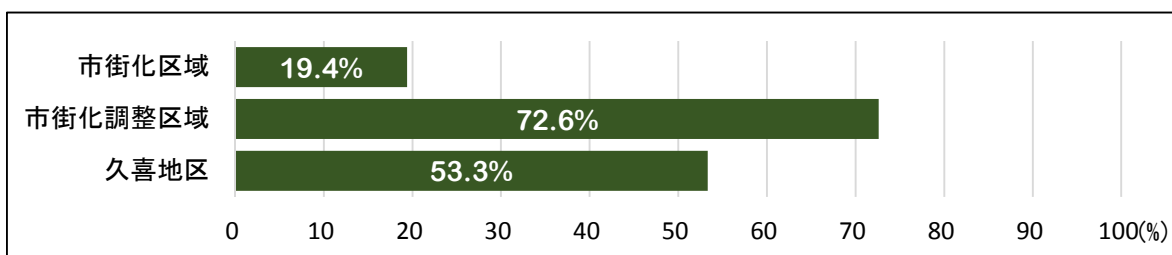


図 8-2 緑被率の区分別内訳 (久喜地区)

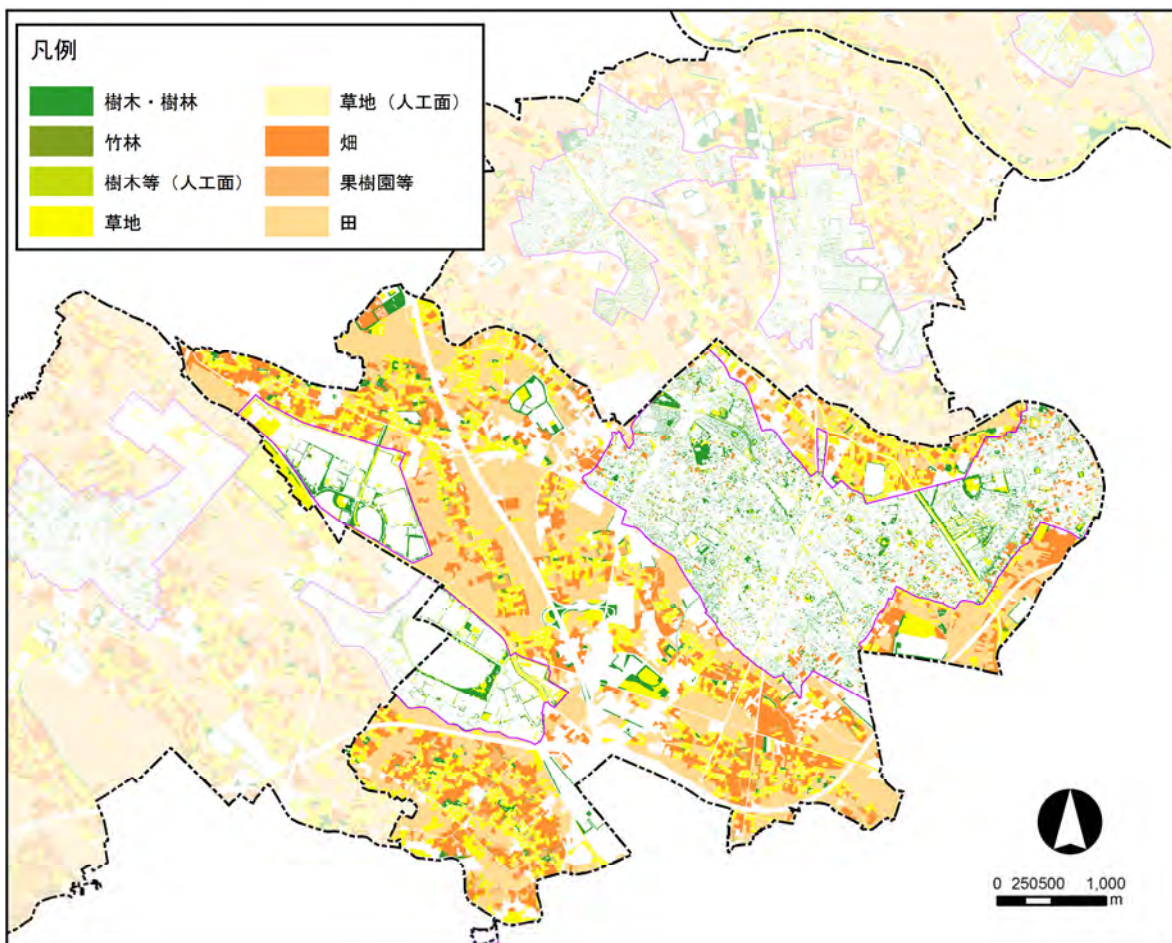


図 8-3 緑被現況図 (久喜地区)

## (2) 久喜地区の課題

緑が比較的少ない中心市街地では、水と緑の憩いの空間を増やしていくことが求められています。街路樹のある道路や河川や水路を軸線としながら、住宅地を中心とする市街地では、一人ひとりの市民が主体的に緑を増やすことで、地区全体としての緑の総量を増やしていくことが望まれます。

地区内には、比較的規模の大きい公園や歴史を感じさせる寺社などの緑があります。これらの自然的資源と社会的資源が連携し、多くの市民に利用される効果的な環境整備が求められます。

水をとりにくく環境では、市街地内を貫流する河川沿いの植樹帯の適正な管理や、市民の身近なところを流れる河川や水路の快適性の向上が課題となっています。

## (3) 水と緑のまちづくりの目標

人々が街なか集うことで活気が生まれるよう、魅力ある水と緑の空間づくりを目指します。また、人々に潤いを与える街路樹などの緑を、時間をかけて育て、街並みの緑の空間を充実させることにより、人と街に活気と潤いをもたらす魅力あるまちづくりを目指します。

## (4) 整備の方針

- ・ 道路沿いの緑化の推進（住居系ゾーン）
- ・ 身近な公園の整備（住居系ゾーン）
- ・ 屋敷林の保全（集落系ゾーン）
- ・ 産業系施設の緑化の推進（産業系ゾーン）
- ・ ふるさとの散歩道の整備（水の軸）
- ・ 街路樹の整備（緑の軸）
- ・ 池沼の保全と環境整備（地区全域）
- ・ 生物多様性の確保（地区全域）
- ・ 自然環境保全地区の保全（武井家屋敷林、吉羽天神社周辺他）
- ・ 総合運動公園の整備（総合運動公園）
- ・ 自然林の育成（総合運動公園）

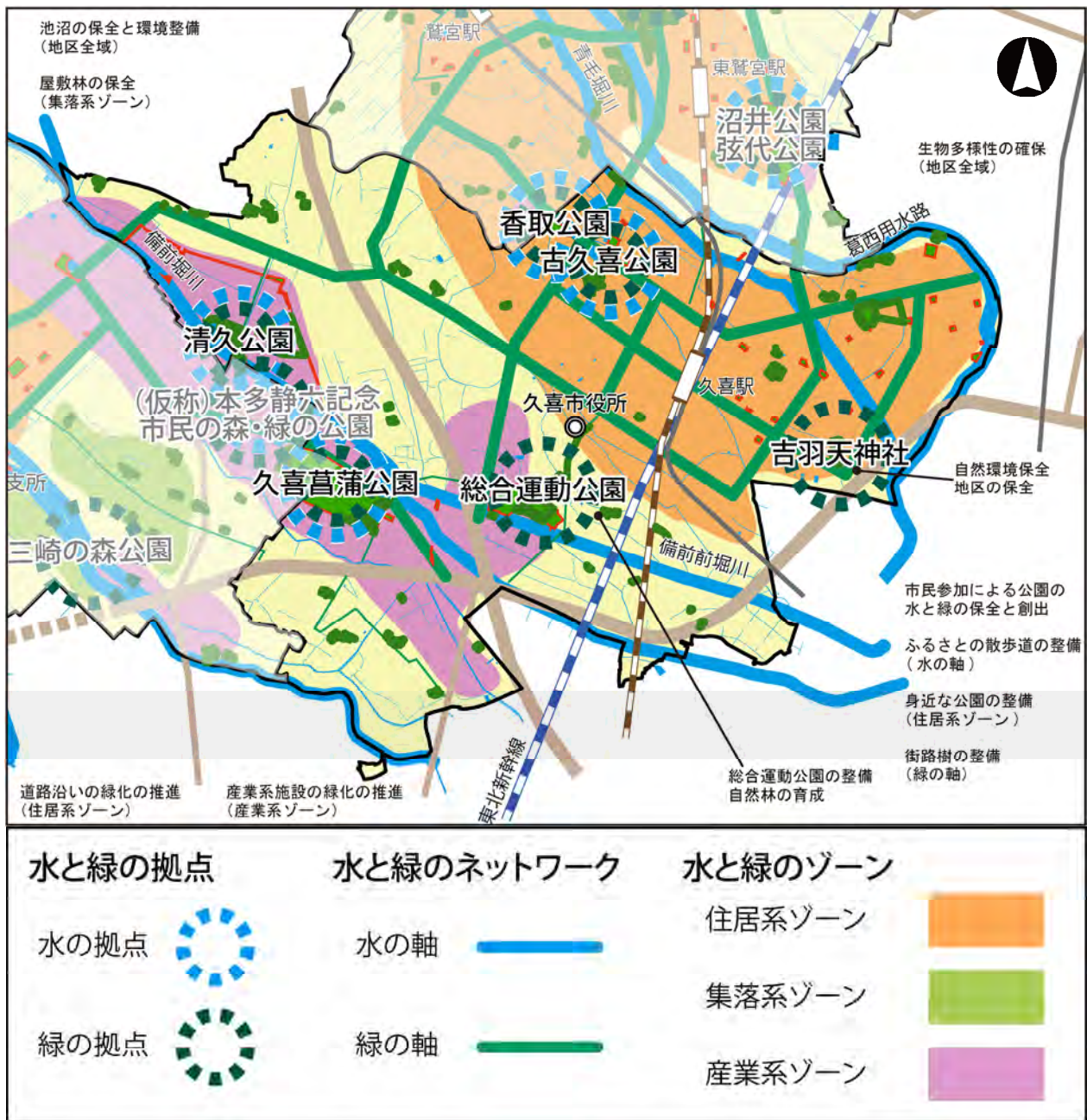
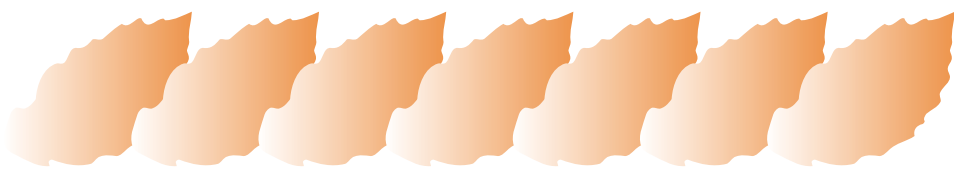


図 8-4 地区別計画図 (久喜地区)



## 2 菖蒲地区

### (1) 概況

菖蒲地区は、見沼代用水（星川）を中心に豊かな農地が広がる田園地帯が主体です。古くからある緑地としては地区の西側に神明神社があり、豊かな社寺林は市内でも貴重な財産となっています。

地区の中心部には菖蒲城趾及びあやめ園があり、今後、（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園の整備や菖蒲高校跡地にはスポーツ・レクリエーション機能を備えた運動公園が整備される予定です。このほか、三崎の森公園を拠点に自然林の整備と公園整備が進められています。

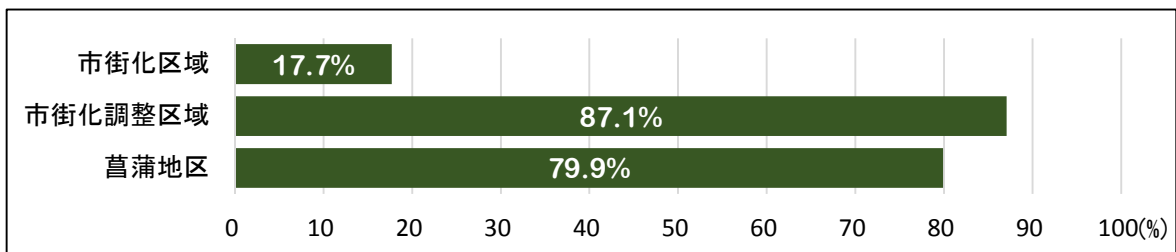


図 8-5 緑被率の区分別内訳（菖蒲地区）

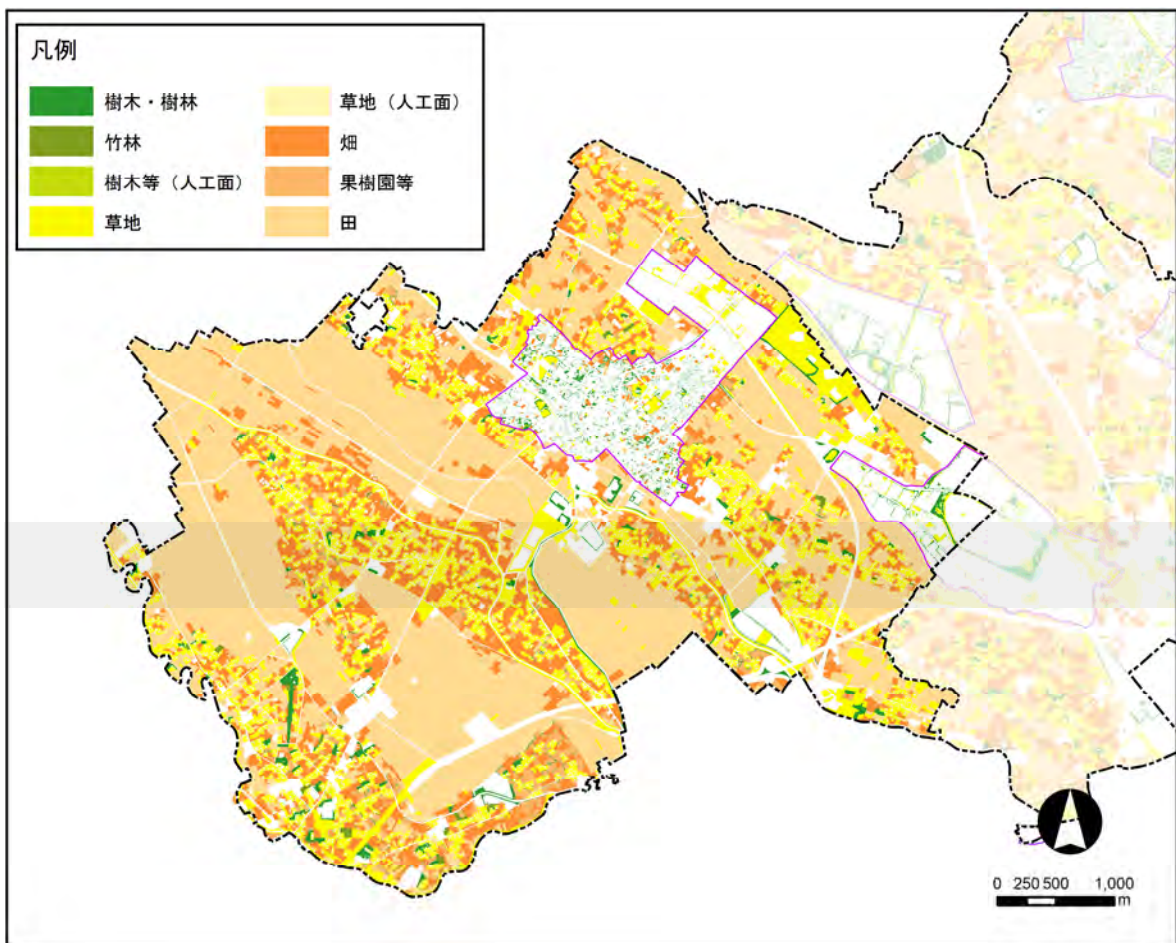


図 8-6 緑被現況図（菖蒲地区）

## (2) 菖蒲地区の課題

市内でも農地や集落が多く、郷土的な風情が色濃く残る地区です。圏央道の白岡菖蒲インターチェンジが開通し、産業系の立地が進みつつあることから、集落的な環境と都市的な環境の調和したまちづくりが求められています。地域資源として定着したあやめ、ラベンダーなど花のまちづくりや田園環境などを活用しながら、工場緑化を誘導していくことが求められています。

市街化調整区域の既存集落などにおいては、豊かな農業的資源が広がっていることから、屋敷林、河川や水路などの郷土的な資源を生かしつつ、水と緑を活かした公園や遊歩道の整備など魅力ある環境づくりが望まれます。

## (3) 水と緑のまちづくりの目標

地域を象徴する歴史、受け継がれた美しい田園、そして都市基盤整備が進みつつある状況を的確にとらえ、人と自然が共生しながら、屋外で憩い集える水と緑のまちづくりを目指します。

## (4) 整備の方針

- ・ 道路沿いの緑化の推進（住居系ゾーン）
- ・ 身近な公園の整備（住居系ゾーン）
- ・ 屋敷林の保全（集落系ゾーン）
- ・ 産業系施設の緑化の推進（産業系ゾーン）
- ・ ふるさとの散歩道の整備（水の軸）
- ・ 街路樹の整備（緑の軸）
- ・ （仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園の整備（緑の拠点）
- ・ 池沼の保全と環境整備（地区全域）
- ・ 生物多様性の確保（地区全域）
- ・ 自然林の育成促進（三崎の森公園）
- ・ 新たな運動公園の整備（菖蒲高校跡地）

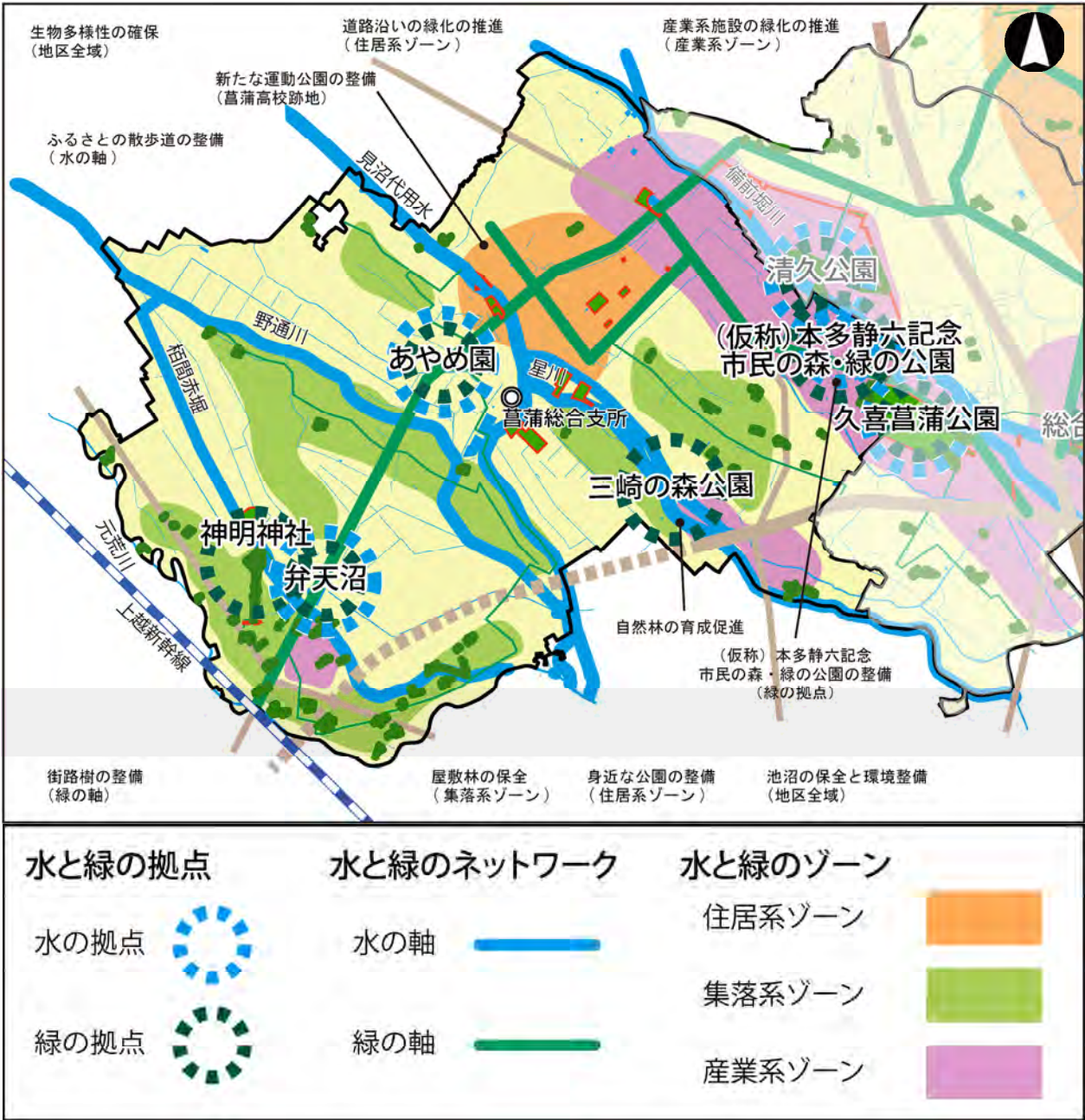


図 8-7 地区別計画図 (菖蒲地区)



### 3 栗橋地区

#### (1) 概況

栗橋地区は、北側を利根川が流れ、関所跡など、多くの歴史的資源が存在する地区です。東側の権現堂公園には桜堤があり、市民の憩いの場となっています。

栗橋駅及び南栗橋駅周辺は住宅地が広がっている一方、権現堂公園以外にまとまった緑地が少ない状況となっています。

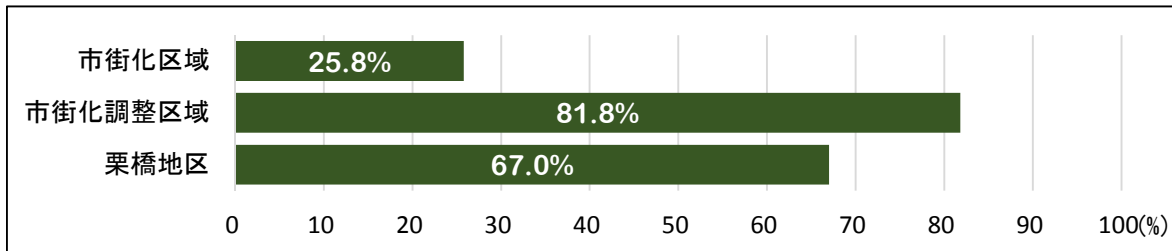


図 8-8 緑被率の区分別内訳 (栗橋地区)

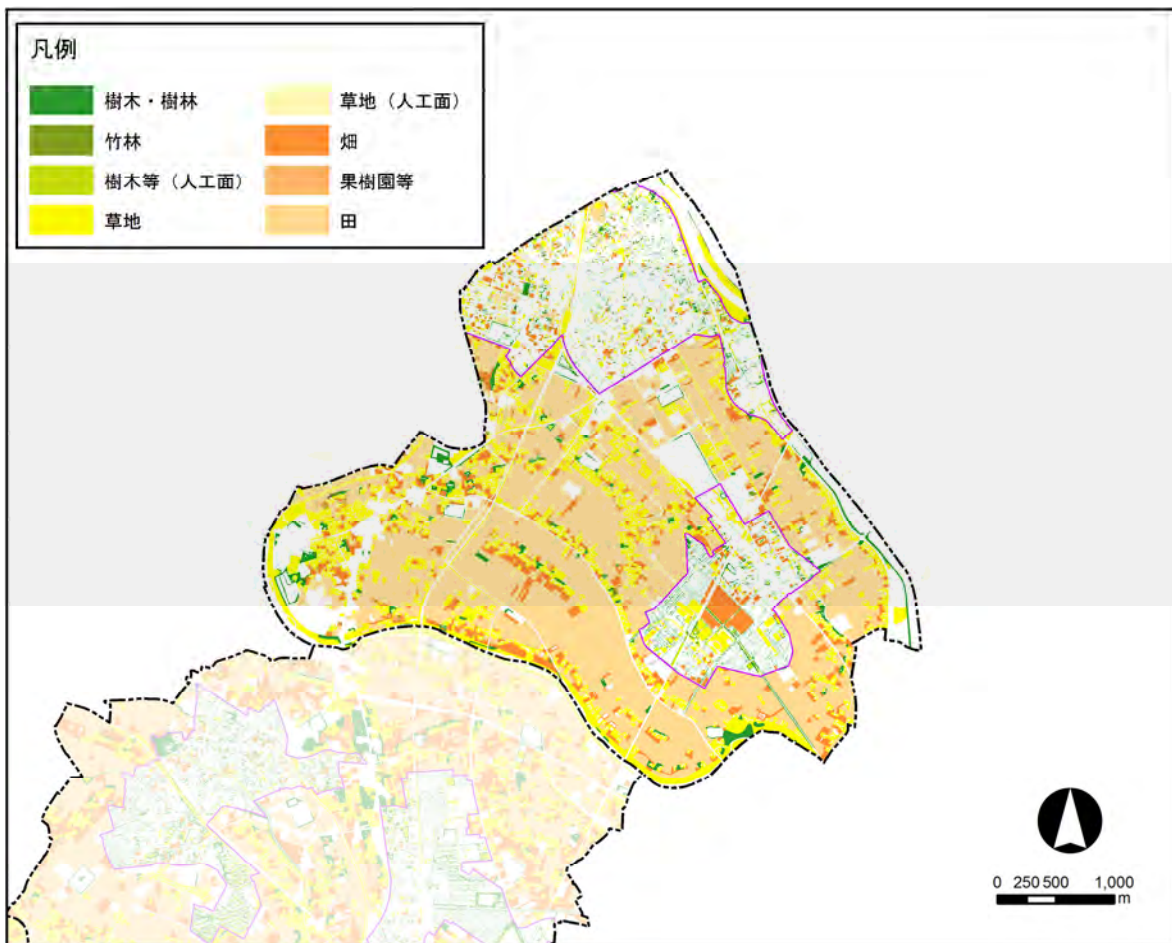


図 8-9 緑被現況図 (栗橋地区)



## (2) 栗橋地区の課題

栗橋地区は、利根川の自然や景観、歴史的資源を活用しながら、人々が訪れる魅力ある交流拠点の確保などにより、地域の活性化を進めていくことが求められています。

旧来から市街地が形成されてきた栗橋駅を中心とする住宅市街地と、主にベッドタウンとして形成された南栗橋駅を中心とする住宅市街地とがあり、いずれも多様な世代が定住できる快適な住環境を維持するとともに、緑豊かな人々の憩い・交流の場の形成が求められています。

## (3) 水と緑のまちづくりの目標

地域の歴史や資源と、新しい都市整備による公園の創造を活かしながら、人が訪れる活気と魅力のある水と緑のまちづくり、災害に強い安心して生活できる水と緑のまちづくりを目指します。

## (4) 整備の方針

- ・ 道路沿いの緑化の推進（住居系ゾーン）
- ・ 身近な公園の整備（住居系ゾーン）
- ・ 屋敷林の保全（集落系ゾーン）
- ・ 産業系施設の緑化の推進（産業系ゾーン）
- ・ ふるさとの散歩道の整備（水の軸）
- ・ 街路樹の整備（緑の軸）
- ・ 池沼の保全と環境整備（地区全域）
- ・ 生物多様性の確保（地区全域）
- ・ 県営公園の整備促進（権現堂公園）
- ・ 水辺環境の保全促進・自然林の育成促進（中川水辺自然観察広場）
- ・ 自然環境保全地区の保全（栗橋内池）

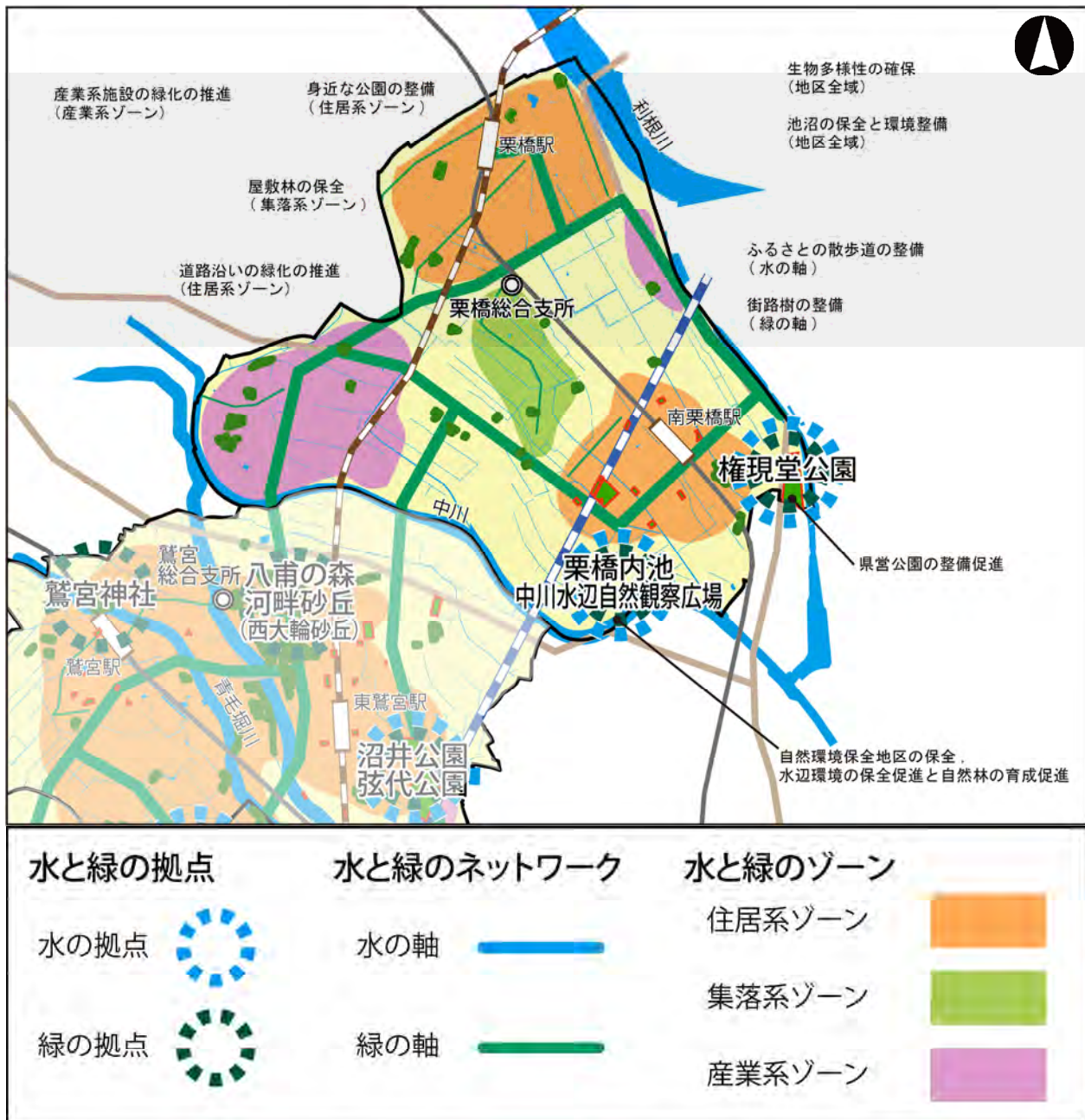


図 8-10 地区別計画図 (栗橋地区)



## 4 鷺宮地区

### (1) 概況

鷺宮地区は、青毛堀川と葛西用水路を中心とした地域であり、珍しい河畔砂丘（西大輪砂丘）も見られるなど、多様な環境をもつ地域です。また、鷺宮神社など歴史的な地域資源にも恵まれています。

緑の拠点としては、鷺宮神社の社叢、八甫の樹林、沼井公園、弦代公園などのまとまった緑地が多く存在し、葛西用水路沿いにはコスモスふれあいロードが整備されています。

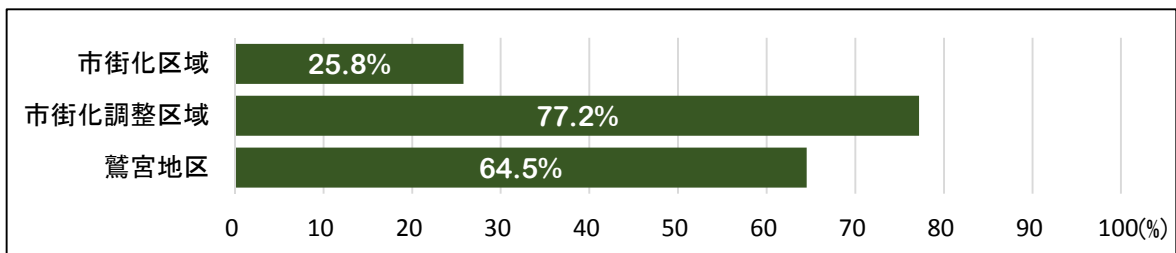


図 8-11 緑被率の区分別内訳（鷺宮地区）

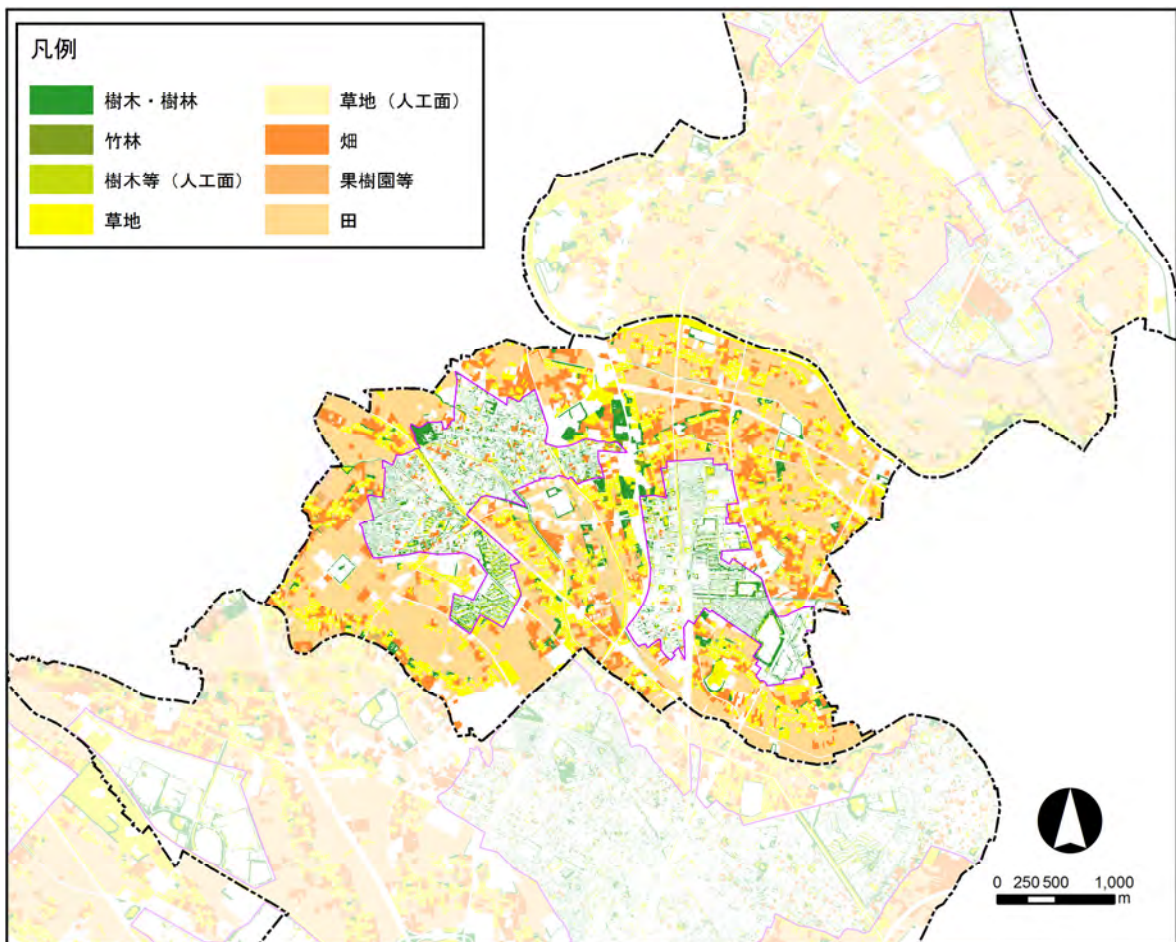


図 8-12 緑被現況図（鷺宮地区）

## (2) 鷺宮地区の課題

鷺宮地区は、近年、鷺宮神社を中心にアニメ「らき☆すた」の舞台として注目され、町おこしにより地域の発展・活性化が図られています。通勤・通学だけでなく観光等で鷺宮駅を利用する人々が増えている現状において、鷺宮駅周辺の環境整備も求められています。

道路・公園の安全性や防犯性、集中豪雨時の浸水被害などの都市の脆弱性について改善していくとともに、防災拠点を確保・充実していくことが課題となっています。

地区を流れる河川については、地区住民に憩いと潤いを与える水辺や緑豊かな環境としていくため、コスモスふれあいロードなどを活用し、地区内外の観光資源とも結びつけた健康的で快適な歩行者ネットワークを構築するなど環境整備の取組みを充実させていく必要があります。

## (3) 水と緑のまちづくりの目標

生活者の目線で街を感じることでできる、歴史的な資源と新しい魅力が結びついた水と緑のまちづくり、街を歩くことに魅力と快適さを感じられる水と緑のまちづくりを目指します。

## (4) 整備の方針

- ・ 道路沿いの緑化の推進（住居系ゾーン）
- ・ 身近な公園の整備（住居系ゾーン）
- ・ 屋敷林の保全（集落系ゾーン）
- ・ 産業系施設の緑化の推進（産業系ゾーン）
- ・ ふるさとの散歩道の整備（水の軸）
- ・ 街路樹の整備（緑の軸）
- ・ 池沼の保全と環境整備（地区全域）
- ・ 生物多様性の確保（地区全域）
- ・ 自然・歴史・文化が一体となった緑の拠点の保全（鷺宮神社）
- ・ 自然環境保全地区の保全（八甫の森）

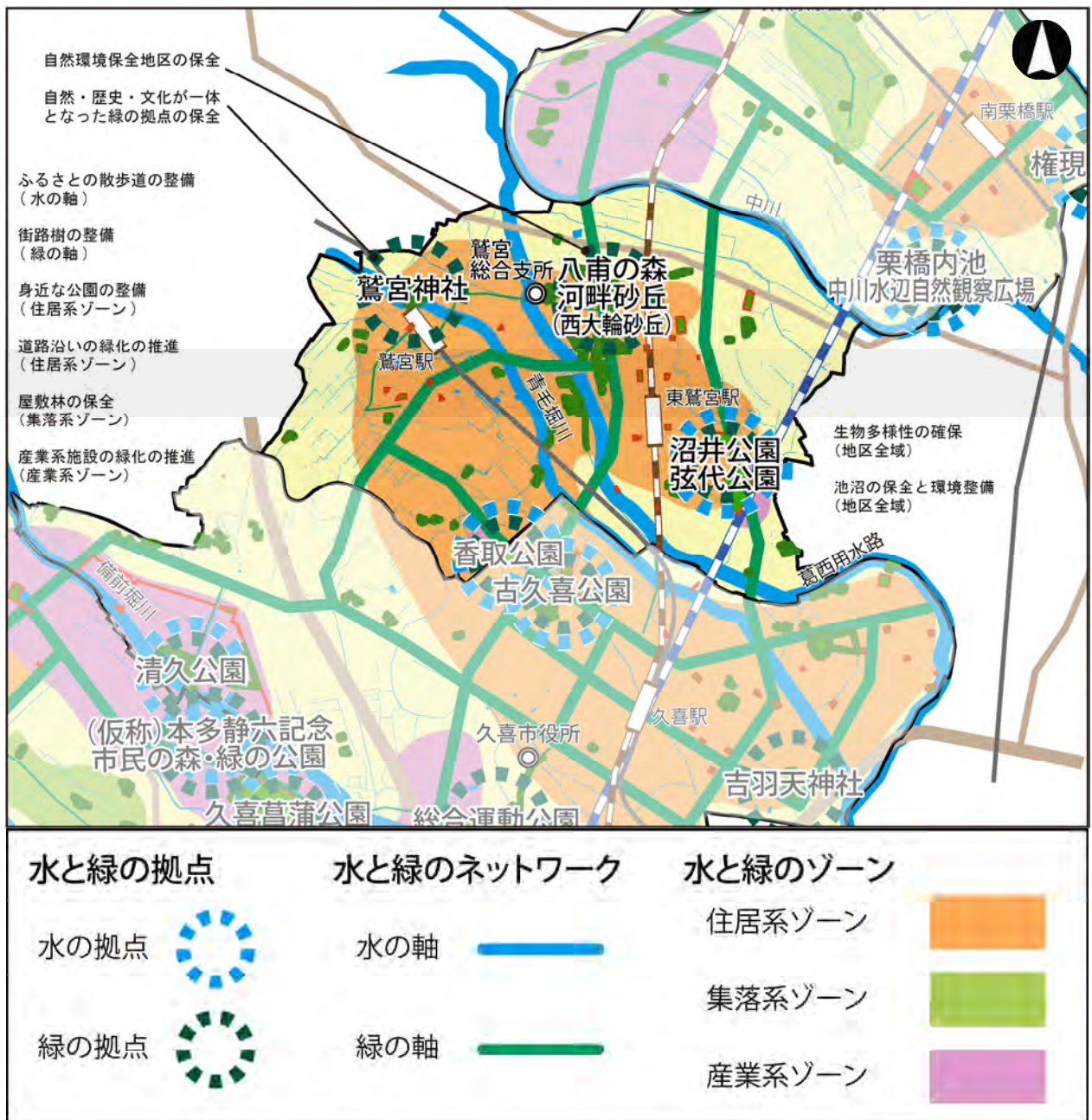


図 8-13 地区別計画図（鷺宮地区）

